

# なかなか踏み出せなかった2000万署名、ようやく…



戸津川 晴美 市議

実は戦争法成立前に戦争法反対の署名を、600筆ほど集めていました。また同じ署名を集めると思うと気がめいっていました。しかし私のやる気に火をつけてくれた行事がありました。下馬四区の合同新年会です。いつもはアッサリと頑張りますと決意を述べるだけでしたが、今年は思い切って平和の話をしました。ちょうど前日に北朝鮮の水爆実験の報道があり、その話から始まり、核兵器廃絶のためにニューヨークに行った話もしました。ニューヨーク市民にも原爆の恐ろしさを知っている人も多く、署名にも気軽に応じてくれた話や、教子の中に自衛隊に入った子もいてとても心配だとの話もしました。集まった人たちは区長さんが多くそのような話は聞いてくれないのではなかと心配しましたが、私の話に大きくうなずく様子が見られホッとしました。また、その後懇談の中で「さすが共産党だ」、「今度は共産党伸びるよね」「ニューヨーク行けてよかったね」など好意的に受け止められていた事に嬉しくなりました。

その次の日から2000万署名の行動を始めました。すると、「また同じ署名をあげているの?」というような反応は全くなく、署名の表題を見せただけでみなさん、迷うことなく署名に応じてくれました。最もうれしかったのは、戦争法案の成立前には、「よくわからない」と署名に応じてもらえなかった人が、「自衛隊に入る人がいなくなる」「自分の息子が自衛隊に入っていたら『ブクに帰ってきなさい』と言わうわ」と怒りを込めて署名に応じてくれたことです。そのような人が一人や二人ではないのが戦争法廃止の署名です。

もう一つは下馬地域を回ったほかの団体の人が訪問したみたいで「この署名はやったよ」という反応が返ってきて党だけの運動でなくあらゆる平和を求める団体が活動していることに心強く思いました。

成立前の600筆にはまだまだですが、地域をくまなく訪問し戦争法廃止の声を集めたいと思います。

## 【資料】高木浩光氏のブログより 「CCCは名簿屋と同列」

公共図書館の指定管理を受ける際に、P(プライバシー)マークを保有していることの意義はいかほどのものか。CCCは、武雄市図書館や海老名市立中央図書館において、Tカードを図書館カードに用いてTポイント事業を図書館運営に絡めつつも、貸出し履歴は取得していないとしてきた。では、履歴を結合することさえしなければ、Pマークを放棄するような事業者に運営を任せていいのか?

Pマークは、第三者提供の制限が個人情報保護法よりも厳しく設定されているため、いわゆる名簿屋はPマークを取得することができない。逆に言えば、Pマークを持っている事業者ならば、裏で名簿屋のようなことをやっていることはないと安心できる。そういうマークである。マークのロゴには「たいせつにしますプライバシー」と描かれている。そういう安心できる事業者ですよという証である。

少しググって(グーグルで検索して)みれば見つかるが、いわゆる名簿屋を営んでいる小規模事業者の他の事業内容を見ると、驚いたことに、個人データ入力や帳票印刷の受託事業も同時に行っているところが複数見つかる。当然、データ入力や帳票印刷で委託した個人データが、販売名簿に流用されることはあってはならないことだが、こういう名簿屋事業者にそれをやっていると信じて発注する事業者が存在するその神経が信じられない。

その意味においてCCCも名簿屋と同列だということになる。いくら指定管理の業務でのデータを混ぜないと言っていたところで、Pマークすら放棄せざるをえないようなところを、誰が信用できるというのか。

高木 浩光 (たかぎ ひろみつ) : セキュリティ研究者。工学博士(名古屋工業大学)。産業技術総合研究所情報セキュリティ研究センター主任研究員。



24日、日本列島は今季最も強い寒気により、奄美大島でも同日午後1時すぎ、115年ぶりに雪を観測。もちろん多賀城も白一色に…。写真は市内高崎の「多賀神社」。24日午前10時20分撮影。

## 多賀城歴史歳時記

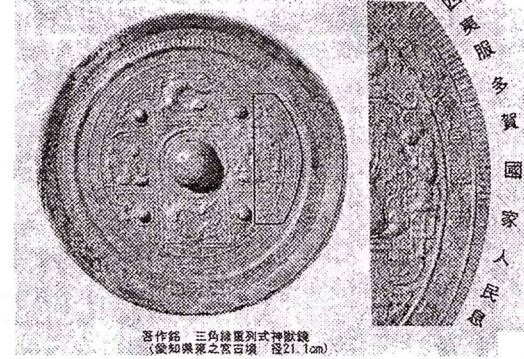
3

「正月」とは旧暦で最初の月のこと。賀正、恭賀、謹賀、年賀、これらはすべて正月を祝う言葉である。賀は目出度いことを祝うこと。だから多賀城は「多くの目出度いことを招く」城。大変縁起の良い名前である。この名は明治17年(1884)、宮城郡内13カ村が連合し「多賀城村」を名乗ったことで復活した。以後昭和26年に町、同46年に市となり現在に至っている▼むろんこの名は古代の役所である陸奥国府が「多賀城」と呼ばれていたことに由来する。では「多賀」とはいったい何か?。長年調べ考えてきたがどうもはっきりしない。納得のゆく説に出会ったのは、2008年10月4日の平川南氏の講演。氏は「中華思想から来ている」と語った▼平川氏はまず、わが国名の特徴について次のように語った。「西国の国名は『出雲国出雲郡』『河内国河内郡』というように地名から国名が付けられたと考えられる。対し東国は『近江(おうみ)遠江(とくさな)』『三川(みかわ)参(ま)河(が)』『三野(みの)美濃(みの)』『駿河(すまがは)科野(しの)』(信濃)『道奥(みちおく)常道(ひたち)』というように、中央の政府の視点から意図的に付けられたと考えられる」▼中華思想について。「古代中国では、自らが世界の中央にあって最も開化した民族で周辺諸国は遅れているという中華思想が根強かった。この影響を受けた日本でも天皇の支配する中華の周辺には蝦夷(えみ)や熊襲(くま)が住み、彼等は次第に王化(おうか)に帰属し、支配者は彼らを教え導くという考え方が取り入れられていた」▼大宰府(たいさい)と多賀城(たが)については。「大宰府の『大宰』は中国古代の官名で王を佐けて国家を治めることを司る。多賀城も中華思想にもとづいて蝦夷対策の中核として設置されたことから、『多賀』も中国に典拠を求めるべきだろう。中国古代の鏡に『四夷服多賀国家人民息』との文字が刻まれている」▼読み下しは「四夷を服し多く国家に賀ありて人民息んず」。

## 多賀城の「多賀」ってなに?

口語訳は「四方の未開の人たちを服属させれば、国家に多くの目出度いことがあり、人民も安心して暮らすことができる」。由来にやや複雑になるが「多賀」が目出度い意味であることに変わりはない。詳しくは『東北「街道」の古代史』(岩波書店、2012年5月初版)のご参照を。以上「一月」末に「多賀」を考えてみた(ふじわら・ますえい)

平川氏の講演資料より



古作銘 三角縁圓列式神鏡 (愛知県瀬之宮百塚 径21.1cm)